

町民の声内容（9月5日）

【タイトル】 グラウンドホッケー場建設に係る件

・八頭町グラウンドホッケー場建設に係る質問

住民投票の要望を却下されたとの事ですが、なぜ？・どうして？と疑問が残ります。

八頭町の住民投票には住民の3分の1以上の署名（有印）による要望が必要と聞いておりますがいかがでしょうか。他の県内市町村と比較してみても大変ハードルの高いものだと思います。

6月町議会での不可思議な状況での採決。その後の議会での賛否の質疑。そうした経緯をもっての住民の要望を却下されたのには、八頭町民の「民意以上の何か？」があるのではないかと疑わざるを得ないのです。そんな疑義を払拭される為にも今一度、八頭町民の真の声を聴いてみるべきだと思うのですがいかがでしょうか。

ホッケー場建設は、「将来の八頭町の為」、「将来の子供たちへの投資」だと言っておられますが、このまま、ホッケー場の建設を、強硬強引に進められ建設着手・完成しても、後々双方に遺恨を残し、「ホッケーの町」・「有望ホッケー選手の育成」など八頭町民のホッケーに対する気運の盛り上がりなど全くないと思うのです。

・「ホッケーの町」・「有望ホッケー選手の育成」などの具体的施策はどんな計画でしょうか？ 立派な人工芝のグラウンドがあっても、有能な指導者・トレーニング施設・トレーニング設備など色々なものが必要となってくるのではありませんか？ いつまでに？

町長が考えておられるそれらの具体的施策を町民に真摯に提案して頂きたい。それらのものが整備され、初めて他に誇れる「グラウンドホッケーの町」となるのではありませんか。

子供の人数減少の中、「器を作っても入れるものが何もない」のでは、大きなゴミとなるのではないのでしょうか。